

◇市へ要望として提出し議会に回答を求めたもの

日本語が十分でない外国人に対し、来庁時や病院受診時における支援や接遇のシステム化を検討してはどうか。

【市の回答】

現状は、外国語が話せる職員またはインターネット翻訳等で対応しています。

今後の対応として、まずは、通訳体制の充実を図ることが重要であることから、平成31年度に通訳機1台を市民課に試験的に導入することを検討しています。その後、通訳機の性能・効果を検証し、有効であれば、複数台導入し、他課等に広げることも検討していきます。

市役所東駐車場の入口と出口の誘導表示板の設置場所は適切か。このように設置した理由を教えてください。

【市の回答】

市役所東側駐車場の出入口ですが、当初は出入口の表示をしておりませんでした。しかし、出入口での車両同士の事故が数件発生したため、改めて現場を確認したところ、国道372号は、南から北へ緩い下り坂で左カーブとなっており、南側から来られる場合、道路標識及び庁舎の建物を確認した時点で、庁舎及び東側駐車場にかなり接近しており、その結果、急ブレーキをかけ左折進入することが車両事故につながっておりました。

事実、国道の道路管理者である加東土木事務所に駐車場の案内標識の占用相談を行った際にも同様の指摘を受けています。

このため、急ブレーキをかけることなく少しでも余裕をもって駐車場に進入していただけるよう、北側を入口専用、南側を出口専用としており、この流れがよりスムーズに行われるよう、入口の150m手前と100m手前の2箇所の比較的低い位置に駐車場の案内標識を設置しました。

また、駐車場出入口の案内標識が「P」の文字が大きく「入口専用」「出口専用」の文字が小さいのではないかとのご指摘も受けたことがありますが、まずは駐車場であることを認識していただくことが優先であることから、あのような表示としています。

なお、「入口専用」「出口専用」の文字の大きさは国土交通省が規定する案内標識の指針に基づく大きさであることを申し添えます。

各体育施設の利用申込み方法を一元化するとともにカギの貸出し、返却を各公民館でもできるようにできないか。

【市の回答】

体育施設の申込みについては、現在、最寄りの施設、東条公民館、社公民館、滝野総合公園体育館（以下「各公民館等」という。）において、市内全体育施設の利用申込みが可能となっています。

また、現在カギの貸出しについては、利用者の利用範囲や管理上の問題から、基本的に、東条地域の体育施設については東条公民館で、社地域の体育施設については社公民館で、滝野地域の体育施設を含む市内の全体育施設については、滝野総合公園体育館でカギの貸出しを行い、貸し出した施設へ返却していただいています。

なお、事前にご相談いただければ、最寄りの各公民館でも貸し出し、返却をしていただけます。



東条地域小中一貫校のボーリング調査の結果を情報公開請求した。建設予定地の北側は地滑り地帯である。危険地帯に学校を建てるのは適切か。

【市の回答】

東条地域小中一貫校新校舎予定地北側の現東条中学校の裏山は、地すべり防止区域（昭和42年法指定）であり、土砂災害警戒区域（急傾斜地の崩壊：平成22年兵庫県告示、地すべり：平成25年兵庫県告示）となっており、予測される災害警戒区域は現中学校敷地の一部が含まれます。

この安全対策として、平成7年から8年にかけて兵庫県により地すべり対策工事を実施しており、加東市としても平成27年度から28年度にかけて地すべり調査業務を実施し、安全の確認も随時行っています。

新校舎の建設については、予測される災害警戒区域は避けて、より安全を担保するべきと考え、建設場所は、この災害警戒区域から離れた県道の南側の箇所にて計画しています。

● ミナクルは、食事もできないなどの制約が多く、自治会館としての使い勝手が非常に悪い。もう少し柔軟に対応できないか。

【市の回答】

当施設は特定地域の自治会館ではありませんが、館内での飲食についての制限はありません。

利用者からの飲食の申し出があれば、適切に対応できるよう職員にも再度周知徹底します。

● 南山2丁目の公園の遊具が壊れたまま1年以上放置されているので、早急に対応願いたい。また、子どもの利用が多い公園であることから芝生化を進めてほしい。

【市の回答】

南山第1号街区公園(南山2丁目)の遊具については、今年度に、スプリング遊具3基とこね台1基を撤去し、置き遊具2基とチビッコハウス1基を設置します。工事完成は3月末になる予定です。

また、芝生化については、計画がありません。芝生ではない方が利用の幅が広がるのではないかと考えます。



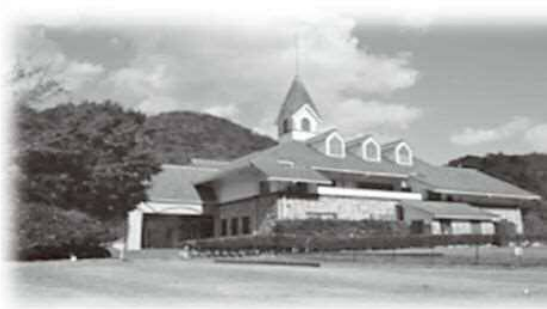
加東市マスコット 加東伝の助

多数のご参加
ありがとうございました!

● 施設の利用について、市民の利用に減免している自治体もあるが、「鴨川の郷」のグラウンドゴルフ利用料もそのようにできないか。

【市の回答】

やしろ鴨川の郷のグラウンドゴルフは、やしろ鴨川の郷協会の自主事業であり、その利用料は、当協会の運営経費に充てられており、市で決定できるものではございません。



とどろき荘での第2部フリートークの様子

● 東条東小学校の通学路について、歩行者専用の信号を付けるなど安全確保をお願いしたい。

【市の回答】

通学路の安全確保につきましては、地区や学校からの要望に基づき、防犯灯の設置や、啓発看板の設置などを行っております。

信号機の設置に関しては、市を通じて加東警察署へ要望し、最終的には兵庫県公安委員会での設置の可否が決定されるため、地区及び学校と具体的な場所や方法について検討のうえ要望書を提出することで、通学路の安全確保に取り組んでまいります。

議員研修会

平成30年12月11日開催



上席研究員 高沖秀宣氏

三重県地方自治研究センター上席研究員・高沖秀宣氏をお招きして、9月に改正した議会基本条例について議員研修会を実施した。

高沖先生からは、市議会が二元代表制の一翼である意義を再確認し、当局に対して議会独自の視点で、監視・評価を行う必要性についてお話があった。

また、委員会などによる積極的な政策立案・提言が重要であることや、そのためには議員個人の調査研究が必要であること。そして、調査研究をしっかりと実施していれば必ず政務活動費が必要になるはずとのご意見をいただいた。

をいただいた。

研修により、議員間で議会基本条例の意義を再確認し、共有することができた。



加東市マスコット 加東伝の助



議会日誌

《主なもの》

12月

- 1日 議会報告会（とどろき荘）
- 3日 第82回加東市議会定例会（初日）
- 4日 総務文教常任委員会
- 5日 産業厚生常任委員会
- 6日 産業厚生・総務文教常任委員会 合同審査会
- 総務文教常任委員会
- 11日 議員研修会（議会基本条例）
- 議会報告会実行委員会
- 18日 第82回加東市議会定例会（第2日）
- 19日 議会広報委員会
- 議会報告会実行委員会
- 20日 議会運営委員会
- 25日 第82回加東市議会定例会（第3日）
- 全員協議会
- 議会運営委員会

1月

- 7日 議会広報委員会
- 15日 議会広報委員会
- 16日 議会運営委員会
- 21日 議会広報委員会
- 22日 第83回加東市議会臨時会
- 総務文教常任委員会
- 25日 東播淡路市議会議長会
- 30日 行政視察（鳥羽市議会・玉城町議会）
- （予算決算常任委員会について、オンデマンドバスについて※玉城町のみ）
- 31日 行政視察（東近江市）
- （中心市街地活性化基本計画とビジネスホテルの誘致について）



公共施設適正配置計画、財政計画ほか4件を合同審査

所管事務調査

行財政改革推進計画の取組結果について (最終報告)

【概要】平成27年度から29年度まで取り組んだ行財政改革の取組結果の報告を受けた。36取組項目の各評価の内訳は、A評価（成果あり）18項目、B評価（一部成果あり）17項目、C評価（成果なし）1項目。

【問】公共施設適正化の取組が、行財政改革の目玉となるべき取組でありB評価ですまされることではない。

【答】年次計画に変更が生じたことを踏まえB評価とした。

【問】公共交通の取組がB評価になっているが、結局何も進んでいないのでは。

【答】地域公共交通網形成計画を策定するなどの取組みをした。

【問】職員の時間外勤務の適正化の取組について、

縮減できないことが心身の病につながっているケースもあるかと思うが、病気休暇を取っておられる職員はどの程度おられるのか。

【問】社の小中一貫校については、中学校校舎を長寿命化工事した上で使用する予定だが、このようなことも含めて変更があり得るのか。

公共施設適正配置計画（年次計画）の変更について

【概要】危険ブロック塀の撤去補修工事費用を追加、滝野交流保養館「滝野温泉ぽかぽ」・やしろ鴨川の郷について、老朽度調査の結果により取組項目費用が大きく変更になる場合があることを追記。

【問】コスミックホールの修繕費用やぽかぽの大規模改修などについても、議会で予算が通ったならこの計画に足しこむというような話では、もはやマネジメントの体をなしていない。

【答】時代の変化や住民のニーズにより修正することはあるが、計画自体をないがしろにしているわけではない。

財政計画について

【概要】今後10年間の収支見通し。2026年には約8億2000万円の財源不足が生じる見込み。

【問】オリンピック関連工事などで資材の高騰等指摘されている。計画には反映しているのか。

【答】公共施設適正配置計画（年次計画）に盛り込まれていないため反映していない。年次計画が変更されれば、変更する。

【問】市としてこの表に掲載されていない、大型事業はあるのか。

【答】工業団地については事業の枠組み等が定まっていないため計上していない。Bio周辺にバスターミナ

ルを整備する件については2019・2020年度で計上している。

滝野交流保養館「滝野温泉ぽかぽ」の改修計画について

【概要】川の湯の舟型サウナの老朽化にともなう撤去と代替のサウナの設置。食堂の利用者増を見込んだ改修を公共施設適正配置計画に盛り込む。費用約3000万円は指定管理料を15年間200万円減額して対応する。

【問】公共施設適正配置計画では、収支が改善しない場合は、

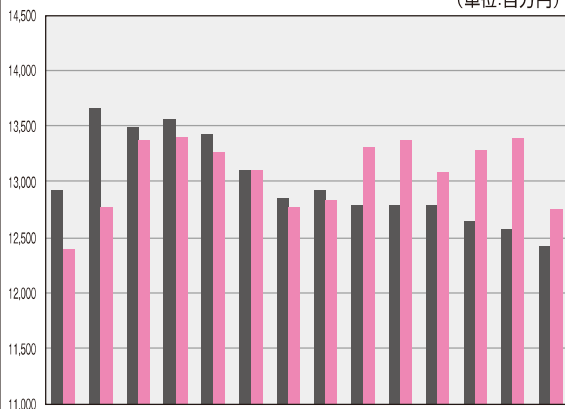
合廃止も含めて検討することになったのはまだ。【答】老朽化にともなう必要な修繕だと考えている。

【問】道の駅とうじょうのマッサージ店にしても1店舗空いたままである。市役所は集客増を見込むなどと言って計画を立てるが事業として成り立っていない。銀行から借金してやるような厳しい心構えが必要では。

【答】実際に銀行からお金を借りるわけではないが、新規事業計画として精度の高いものになるよう商工会等への相談等検討する。

歳出・歳入の推移

(単位:百万円)



年度	2006 (H18)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020 (H32)	2021 (H33)	2022 (H34)	2023 (H35)	2024 (H36)	2025 (H37)	2026 (H38)	2027 (H39)
歳入	12,922	13,663	13,522	13,572	13,440	13,121	12,863	12,853	12,801	12,802	12,775	12,656	12,586	12,433
歳出	12,402	12,779	13,378	13,415	13,280	13,113	12,791	12,847	13,329	13,385	13,091	12,292	12,406	12,767

※ 2006 (H18)と2015 (H27)～2017 (H29)は決算額、2018 (H30)は決算見込、2019 (H31)～2027 (H39)は推計額

一般質問

指定管理者制度で継続して運営する 東条文化会館の施設の必要性は何か

小川 忠市 議員



問 市議会議員選挙中に市民から素朴な疑問点として「なぜ、東条文化会館は指定管理者制度で継続して置いて（存続）おくのか。市として重要な施設なのか。」と聞かれたが的確な答えができなかった。

市として東条文化会館は重要な施設なのか。また、今後も指定管理者制度で継続して運営する必要性と施設の存続理由を明確、具体的にお答え願う。

答 指定管理者としてしっかりと3年間運営されたのに「これはダメである」という結論は出せない。また、この3年間は相当無理な運営をされてきたことを踏まえ期間を5年間に延ばすことで財政的にも事業計画が立てやすくなるのではないかと。

今後は特定の私的資金に頼ることなく、当初「各種団体や国・県から助成金や協賛も得られるように活動を展開する。」と言われていた方々も含め、しっかりとした身の丈に合った企画・運営がなされるよう願うものである。この度はそのような中で私（市長）自身の「判断」としてご理解いただきたい。

問 東条文化会館を5年間運営するとすれば公共施設総合管理計画の「施設の総量を減らす」、「市の文化会館は1館体制」とする基本方針から逸脱していないか。

答 今の状況が続くのであればその通りである。ただ、市は躯体に大規模な修繕が必要の場合は運用を停止とするとしており、市は文化会館を3館は持たない方針であるが、現実にはそこには至っていない。

問 市は今後5年間、躯体等以外の部分の修繕には多額の税金をつぎ込むのか。

答 修繕の程度による。ただ施設の利用者の方々に危険が及ぶような部分は修理しなければならない。また、利用者に配慮したバリアフリー化は必要であり予算措置したい。

問 この3年間の収支状況は大変厳しく単年度では赤字決算である。もし、期間途中で資金面で運営が厳しくなった場合、市としての施設はどうするのか。

答 市は、さまざまな提案を受けて指定管理者制度でNPO等で運営する道を選んだ。仮にそれができない場合には、市が運営することはないため一定の判断は避けられない。

問 それであるならば東条文化会館は一体誰のための施設なのか。指定管理者のための施設なのか。

答 当然、指定管理者のための施設ではない。従って指定管理者には、5年間はしっかりと運営をしていただきたいという強い思いを持って発言している。

その他の質問

■選挙の投票率向上策として投票日に巡回バスを走らせてはどうか。

■加東市における内部統制制度への認識と制度導入の是非も含めた考え方を問う。

旧滝野野庁舎有効活用について

桑村 繁則 議員



問 新しい工業団地の造成について進捗状況はどのようになっているか。

答 小野市、加西市においては、本市より先行して産業団地を整備し、一部が分譲を開始するため、北播磨地域の工業団地用地は飽和していることが懸念される。競合する工業団地より立地企業が求める要件を備えた魅力ある用地を創出する必要がある。そのためには、厳しい法規制や、多くの課題を解決しなければならず、実現に向けて取り組んでいる。

問 ホテル誘致について進捗状況は。

答 早期に実現すべき施策と考える。

今年度、専門の事業者の支援を受けながら、ホテル誘致に向けて検討をした。加東市は、優良なマーケットとはいえ、宿泊施設事業者の進出意欲は高いものではないという分析になっているが、数社は条件が整えば、進出について可能性があると報告も聞いているので検討を進めている。

問 旧滝野野庁舎の有効活用について、滝野温泉「ほかほ」、「民俗資料館」、「文化会館」等の施設との相乗効果を考え、市に寄贈された美術品等の展示、ギャラリー等の魅力ある施設作りをしてはどうか。また、庁舎周辺や一階部分の階下には、古い自転車、廃家

電があり、整理が悪く荒れている。

答 現段階では、有効な活用等は見出せていないが、立地条件も活かしながら有効な活用を検討していく必要がある。検討に際しては、市内部だけでなく、多様な意見をいただく機会を設けて検討をしていくことも必要である。庁舎の利用者がなくとも周辺環境が悪くなることのないように、新たな活用方法が決まるまでの間も建物周辺の美化に努め、適切な維持管理を行っていく。

問 福田橋車道橋撤去の現状は。

答 平成31年3月に、加西方面に行くための乗り入れ道路工事に着手、平成31年度に社方面から市道に降りる道路、平成32年度に社方面への乗り入れ道路の工事を施工する計画。平成32年度末には、フルランプが完了することから、平成33年度に撤去する計画である。地元協議については、同意が得られたことから事業を進めている。



旧滝野野庁舎

『再犯防止推進法』の 成立・施行に関して

高瀬 俊介 議員



問 『再犯防止推進計画』を市としてはどのようにとらえられているか。

答 市では、犯罪を犯した者を社会の一員として受け入れ、その立ち直りを見守り援助することにより、再び犯罪や非行に陥らないような環境づくりの取り組みが必要であると考えており、小野・加東保護区保護司会（加東支部）及び加東市更生保護女性会の活動への支援を適宜行っている。市の努力義務とされた地方再犯防止推進計画の策定については、国の再犯防止推進計画における今後の施策で、地方公共団体との連携強化等のための取り組みの課題も山積みとなっており、現在、県下のすべての市町において地方再犯防止推進計画の策定がされていない状況である。よって、地方再犯防止推進計画の策定については、引き続き国の動向や近隣市町の状況等を注視しながら、慎重に調査、研究を行っていきたい。



加古川市更生保護
サポートセンター

問 法務省でも平成20年度から更生保護サポートセンターの設置を進めてきているが、市において今後どのような

考えを持っているか。

答 現在、市においては保護司会の活動に対して一時的な施設の貸与など一定の支援を行っている。サポートセンターの設置に関しては一つの保護区に対して一カ所となっており、小野・加東保護区保護司会においては、サポートセンターは小野市に設置を行う方針が決定され、すでにその要請を小野市に行っていると聞いている。当市としては小野・加東保護区におけるサポートセンター設置の状況の推移を注視しつつ、当市に改めて何らかの協力要請があった場合には小野・加東保護区保護司会及び小野市と対応を協議していく。



その他の質問

道路（市道）補修に関して

子供たちの安全・安心な 通学環境について

別府 みどり 議員



問 通学路の安全確保に対する方針と対策を伺いたい。

答 安全・安心を適切に、かつ速やかに確保するといった方針のもと、通学路交通安全推進会議で危険箇所の抽出や対策の検討を行い、整備が必要と決まった箇所については予算化し、安全対策を行っている。また地区からの要望にも現地調査を行ったのちに必要なる安全対策を取っている。

問 通学路車道外側線（白線）の維持管理についての対策や計画は。

答 PTAを含めた学校や地区からの要望箇所については、現地調査を行い、優先度の高い箇所や通学路から実施している。平成30年度は通学路14路線の区画線修繕工事を行い、平成31年度は通学路7路線の修繕を計画しており、毎年計画的に行っていく事としている。

問 長期間にわたり白線が消えたままの状態になっている箇所があるが、点検頻度は適正であるか。

答 毎月一回の道路パトロールを実施している。合わせて、地区からの要望による危険箇所については早急に対応している。



□市内公園の整備・管理状況について

問 清掃計画や管理対策は。

答 市が管理する71カ所の公園を、その規模により、週2回から月3回程度、1人から3人態勢で1、2時間の日常的な清掃作業を行っている。草刈りや剪定については公園ごとに年間実施計画を作成したうえで、現状状況なども勘案しながら、年に1回から3回程度行っている。

問 公園施設長寿命化計画に挙げられている清掃管理・維持管理に関する計画は、その点検項目や頻度の過不足について見直しはされているか。

答 維持管理については職員が月1回巡回し目視し、実際触れて点検している。

少子化対策と子育て支援

大畑 一千代 議員



問 来年度のアフタースクールやこども園等の入所申込状況は。待機児童は発生しないか。

答 私立を含め1413人で全受入可能数1390人を上回る。特に3歳未満児は厳しい状況。

アフタースクールも福田・滝野南・東条東で待機児童が発生する。

問 これまでから待機児童を出さないこと、保育士の確保について申し入れしてきたか。

答 3歳未満児の入所希望が昨年より80人以上増えており、施設・保育士の基準を満たすのは現実的に厳しい。

問 アフタースクールの対策は。

答 周辺の施設を活用できないか検討を進めていく。

問 就学前の全児童の健康状態などは把握できているか。虐待はないか。

答 各種健診を通してすべて把握できている。子どもの保護のため県に送致した件数は28年9件、29年11件。

問 消費税10%に伴い諸物価の高騰が危惧されるが給食費の見直しは。

答 保護者の負担増にはしない。

問 10月の保育料無償化に際し実費徴収とのことだが、無料にしては。

答 応益負担の原則から無料化は考えていない。

問 新設認定こども園では主食は各自の持参。サービスの低下では。

答 説明会で主食の持参をお願いした。反対はなかったと認識している。

問 4月以降、鴨川保育所の給食は。

答 米田こども園から配送する。

問 妊婦の診療には配慮が必要だが、妊婦加算は少子化対策に逆行する。母子健康手帳交付者に妊婦加算分を祝い金で補てんしてはどうか。

答 現在、出産祝い品を贈っている。重ねては、実施したい。

問 明石市は「予算配分が子育てに偏りすぎている」と批判されているが、人口は増えている。岡山県奈義町は出生率が倍の2.81に上がった。加東市も取り組むべきでは。

答 子育て支援は重要な課題。できることをしっかりと実施していきたい。

■農業振興について

問 営農組合組織等からの来年度に向けての補助要望はどの程度か。要望自体を抑え込んでいないか。

答 要望された総事業費は約8400万円。適切に必要な事業が審査し補助を実施する。

その他の質問

■獣害対策について

公共交通の今後の方向性について

長谷川 幹雄 議員



問 現在の公共交通の進捗状況はどのような状況か。

答 平成29年3月策定の地域公共交通網形成計画に基づき進めている。達成するための17の施策に、優先順位をつけて取り組んでいるが、全体として順調に進んでいると捉えている。

問 交通事業者との連携、話し合いはスムーズに進んでいるのか。

答 神姫バス、西日本JRバスとは定期的に話し合いの場を設け、共通の課題に向けた協議や情報交換などを行っており、円滑に進めている。

問 市内の密集地域の移動手段はどうするか。

答 基本は自主運行バス、その次は乗り合いタクシー等の変型版の検討を加えて行くべきと考えている。

問 東条地域の現行バスの今後について、バス事業者との話し合いは。

答 赤字路線であることから神姫バスが整理の対象とし、撤退の意向を示しており、兵庫県を交え神姫バスと協議を進めている。

■東条小中一貫校の避難所開設についての再質問

問 避難所としての認可はどこがするのか。

答 市で指定し、県にも報告する。県から認可がおりるものではない。管理も市が行う。

問 逃げ遅れた方の避難所の受け入れはどうするのか。

答 避難の遅れがないように、防災行政無線、メール等で避難を強く呼びかけ、型にはまらず、緊急性が伝わる放送を心がける。逃げ遅れた方々には、安全な場所への避難を呼びかける。

■廃校になる学校の利活用について

問 発達障害の方々、また高齢者の介護等の施設、重度身障者の施設として考えてみてはどうか。

答 利活用に関する検討委員会を立ち上げているところである。地域の意見を吸い上げる。まず地域のコミュニティ施設として検討し、活用が難しい場合は福祉施設、または様々な用途の施設として検討する。

生活支援体制整備事業の取組(進捗)状況と今後の取組について

鷹尾 直人 議員



問 平成27年度の介護保険制度改正により、多様な高齢者の日常生活を支える仕組みを充実させること、高齢者の生きがいや介護予防につながる社会参加の機会を確保することを一体的に推進し、高齢者が住み慣れた地域で自分らしい生活を続けられるよう、市内の社会福祉団体に委託して、介護予防や助け合いの地域づくりを意識した取り組みを進めているが、現在の進捗状況と今後の取組について問う。

答 3圏域(社、滝野、東条)ごとにそれぞれ配置した生活支援コーディネーターを中心に各圏域の協議体とともに、各地域内のニーズや資源を把握しながら、地域の特性に応じた活動を目指し、住民との顔の見える関係を構築している。

また、今後においては、地域の特性に応じた取り組みを継続するとともに、少しずつでも新たな取り組みも取り入れていけるよう支援を行う。平成31年度には、この事業の更なる周知を行うため、市主催で啓発フォーラムを開催する予定である。

問 市生活支援体制整備推進協議会の会長が、この事業を進めるにあたって「加東市の良いところは、生活支援コーディネーターの配置が、他都市では

社会福祉協議会に置いているのが大半で、他の業務と兼務している人が多い中、加東市は、そうでなく進めているのは特徴的なこと。県の中でも注目を浴びている」と言われていることや取り組みが順調に進んでいることから、これからも、社会福祉団体に委託して進めるのか。

答 加東市社会福祉協議会でも事業に取り組める体制が整ったと聞いている。現在、委託している社会福祉団体の意向も聞き、委託先を変更して取り組むことも考えている。

問 委託先が変わっても、事業がスムーズに進むのか。

答 社会福祉協議会は、小地域福祉活動などこれまでも地域とのかかわりを持ってきておられ、今も生活支援コーディネーターとともに行動されている。



移動販売車による買い物の様子

要介護認定を受けている方の「障害者・特定障害者」及び特別障害者手当の申請に関して

古跡 和夫 議員



問 この制度の周知はどのように行われているのか。

答 毎年2月広報で確定申告の周知と合わせて行っている。

問 介護を受けている人全員に知らせる必要があるのでは。

答 対象者全員を抽出するのが困難であることや申請を促してトラブルを招かないかと危惧している。全戸配布している市広報紙での周知で理解いただきたい。

問 障害者控除を認定された方、特別障害者控除を認定された方の人数は。

答 平成29年度分では、障害者控除24名、その内特別障害者控除14名。

問 介護で大変な思いをしている住民への周知が2月広報紙に掲載するだけで良いのか。介護を行っている世帯へ直接必要な書類と分かりやすい文書を送付し利用を勧めるのは、地方公務員としての責務だと思うが市長の見解を聞きたい。

答 そのことは理解できるが、もっと有効な方法があるのか、どの程度の事務量になるのか等を調査・検討している。

問 現在、特別障害者手当を受給されている方は何名か。

答 特別障害者手当は月額2万6940円平成30年11月現在、28名である。

市のアフタースクールの現状と今後について

対して、トイレの数が少なく列ができると聞いた。この現状で対策を検討したのか。

答 報告は受けている。幼稚園を活用することで改善できないか検討している。

問 学校で熱を出して保健室にいたのにアフタースクール支援員に連絡がない等連携が上手くいっていないと聞いた。教育委員会として学校へ指導しているのか。

答 児童の健康と安全という点については第一義に考えねばならない。学校とアフタースクールの連携については、学校も含めて指導してまいりたい。

国民健康保険加入者の現状について

問 国民健康保険加入者の年収が少ないことが言われて久しいが、2年前に税務課の窓口で国民健康保険税の「納税の猶予」について尋ねたところ「そんな制度はない」と言われたが、国民健康保険加入者の所得ごとの世帯数、滞納世帯数、差押え件数は。

答 税務課の職員が「納税の猶予」を知らなかった件については反省し指導していく。平成30年3月末現在、国民健康保険加入者の世帯数4692世帯、そのうち、滞納世帯数500世帯、差押え件数73件。(※滞納世帯数・差押え件数は、転出等で所得未把握の者を除いた数。)

一般質問

サイクリングによる 市の魅力の発掘について

石井 雅彦 議員



問 市では「サイクリングマップ」も作成し市外からのサイクリングによる観光の誘致に努力されているが、レンタサイクルの利用状況は。

答 レンタサイクル（クロスバイク）は、滝野にぎわいプラザで昨年7月に始めたが、月平均の利用人数は5人程度である。まだまだ周知不足で課題がある。



滝野にぎわいプラザの
レンタサイクル

問 北播磨広域定住自立圏で広域観光事業として「北はりまサイクリングマップ」も作成しているが、各市町どのような連携をとっているのか。

答 3月に開催される大阪でのサイクルフェスティバルに参加し、各市町の観光マップやサイクリングマップを配布してPRする予定である。

問 「自転車を活用したまちづくりを推進する全国市区町村長の会」が昨年11月に設立され、加東市も加入したが、

今後この会をどのように活用して観光誘致につなげていくのか。

答 加入している先進自治体の情報を得て、加東市及び北播磨に合った自転車を紹介した取り組みを研究し進めていきたい。

問 西脇市では昨年8月に「自転車ネットワーク計画」を策定され自転車路線の整備計画を盛り込んでいるが、加東市では同様の計画を検討されないのか。

答 安全で快適な自転車の利用環境を創出していくという意味で必要な計画であると考えているので、今後検討していきたい。



加東市サイクリングマップとにぎわいプラザ入り口

その他の質問

全国学力・学習状況調査について

地域公共交通について

藤尾 潔 議員



問 自主運行バスを自主的に運行しているのは市なのか、地域なのか。

答 市が運行している。

問 地域への押し付けにならないよう配慮ができていますか。

答 地域との協働による取り組みである。

問 水戸市では、一部地域でタクシーを1000円定額運賃としている。現行の福祉タクシーより、この方が加東市にあっているのでは。

答 水戸市でも試験実施中ということであり、状況を見定めたい。

問 自転車を持ち良く活用できるまちづくりについて

問 社町駅で所定場所以外への駐輪なども目立つが、対策は。また、放置自転車対策の条例を制定すべきでは。

答 定期的に巡回して放置自転車の撤去などに取り組んでいるが、枠外駐輪が目立っている。駐輪場を約30台増設する予定である。放置自転車対策条例については調査研究を進めたい。

問 市として自転車を活用したまちづくりに取り組むとのことだが、そもそも安全に走れる道路になっていない。国が進める「自転車ネットワーク計画」を策定し、安全に走れる道づくりに取

り組むべきでは。

答 自転車人口が増えている中、路肩が急に狭いため路面標示は困難であるが、自転車ネットワーク計画の策定に向け検討する。

問 外国人への広報のあり方について

問 加東市に住む外国人も増加する中、翻訳した広報のダイジェスト版を配布し情報提供等すべきではないか。

答 防災上の観点からも重要であると考えており、国際交流協会や企業と連携して対応したい。

問 体育館の熱中症対策について

問 体育館に空調のない状態で運動等をするのは、熱中症の危険をとまなう。最近では後付けできるタイプの製品もあり、設置を検討すべきでは。

答 費用を要し、また球技等によつては空調の風に影響を受けることもあるため、慎重に考えたい。

問 検討と言っている間に、災害が起き避難所として活用しなければいけないケースが出てくるかもしれない。リースできるものもあり、導入を検討すべきである。

答 避難所としての性質も踏まえて検討を進めたい。



この号から新しい委員で、1年間「市議会だより」を受け持つことになりました。

このコーナーのタイトルも刷新。4回にわたって「加東市のこんなこと知ってますかあ」を皆様にお伝えするコーナーにいたします。

第1回目は、皆様ご存知の加東市のマスコット『加東伝の助』。頭の髪の毛を見ると、加東市の『か』の字になっています。



加東市マスコット
加東伝の助

「ゆるきゃらグランプリ2018」では507体中なんと47位に輝いた15歳の元気な男の子です。

元々、伝の助のコンセプトになったのは、釣針の製法を土佐で学び、加東市で釣針作りを始めた江戸時代の加東市下久米の庄屋「小寺彦兵衛」さんです。



加東市マスコット
加東伝の助

ツイッター始めたよ!
アカウント名
@kato_dennosuke

☆夢と元気を伝えます
☆いろんな情報を伝えます
☆昔の伝統文化を今に伝えます
☆今のいいものを未来に伝えます
☆いろいろな情報を伝えます
☆夢と元気を伝えます
☆いろんな情報を伝えます
☆昔の伝統文化を今に伝えます
☆今のいいものを未来に伝えます

(石井雅彦)

この彦兵衛さんのおかげで、東条地域を中心に生産された釣針「播州針」は、今や世界的にも有名で、国内生産量の約9割のシェアになっています。

こんな彦兵衛さんの想いを受け継いで誕生した「加東伝の助」は、その名の通り

☆昔の伝統文化を今に伝えます
☆今のいいものを未来に伝えます
☆いろんな情報を伝えます
☆夢と元気を伝えます
☆いろんな情報を伝えます
☆昔の伝統文化を今に伝えます
☆今のいいものを未来に伝えます

☆夢と元気を伝えます
☆いろんな情報を伝えます
☆昔の伝統文化を今に伝えます
☆今のいいものを未来に伝えます
☆いろんな情報を伝えます
☆夢と元気を伝えます
☆いろんな情報を伝えます

☆昔の伝統文化を今に伝えます
☆今のいいものを未来に伝えます
☆いろんな情報を伝えます
☆夢と元気を伝えます
☆いろんな情報を伝えます
☆昔の伝統文化を今に伝えます
☆今のいいものを未来に伝えます

(石井雅彦)

議会の傍聴に お越しください

加東市役所5階に議場があります。

今後の予定	3月1日(金)9時30分	定例会(初日)
	4日(月)9時30分	総務文教常任委員会
	5日(火)9時30分	産業厚生常任委員会
	11日(月)~13日(水)9時30分	予算特別委員会
	18日(月)9時30分	定例会(2日目 一般質問)
	22日(金)9時30分	定例会(3日目)

○KCV(121ch ※録画可能) および加東市議会HPで生放送もしていますのでご覧ください。
スマートフォン等で右のQRコードを読み取って「加東市議会」のホームページをご覧ください。
ホームページ <http://www.city.kato.lg.jp/gikai/index.html>
電子メール gikai@city.kato.lg.jp



クイズ&アンケート募集

このたび、市民の皆様からの『加東市議会だより』へのご意見を聴取させていただくため、「クイズ&アンケート」を行います。

右のクイズに回答し、正解された方から抽選で5名様に、滝野にぎわいプラザで3月24日に開催される「山田錦の名酒とのマリアージュ 其の五 赤穂のカキ」で使える1,000円分の商品券を差し上げますので、奮ってご応募ください。なお、当選者の発表は商品券の発送をもって代えさせていただきます。

クイズ ◎に入る文字は?

『4月から新しくオープンするのは
加東○○○こども園』

応募方法

- ① クイズの答え
- ② 市議会だよりや、市議会へのご意見

をハガキにお書きの上、

〒673-1431 加東市社50
加東市議会事務局 Q & A 係
までお送りください。(2月20日必着)

編集後記

寒い日が続きます。合わせて、風邪やインフルエンザが流行してまいりますと、家の中で過ごす時間が増えてくるのではないのでしょうか。

そこで気をつけたいことが、SNSやネットの使用についてです。子育て世代においては、子どものネット依存なども年々増加傾向にあります。

ネット依存は誰もがなりうる可能性を秘めている依存症のひとつですが、子どもの発育を阻害するといった影響があります。

残酷なゲームなどでも簡単に入手可能な仕組みができてしまっているため、大人が知識を得て、子どもたちのネット環境を管理しておくことやルール作りも大切です。

(別府みどり)

議会広報委員会

委員長	井上 茂和
副委員長	高瀬 俊介
委員	桑村 繁則
	藤尾 潔
	石井 雅彦
	鷹尾 直人
	別府みどり

発行 編集 発行日

加東市議会
議会広報委員会
平成31年2月1日

〒673-1493
兵庫県加東市社50番地
TEL 079-543-0385 (直通) FAX 079-543-7960